

(文部科学省委託)

教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの
視点からの学習・指導方法の改善の推進事業

(県事業名)

「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた授業改善充実事業

秋田県教育委員会



シンカタイム





目

耳

心



セットで **聴** こう

目

の方をむいて

耳

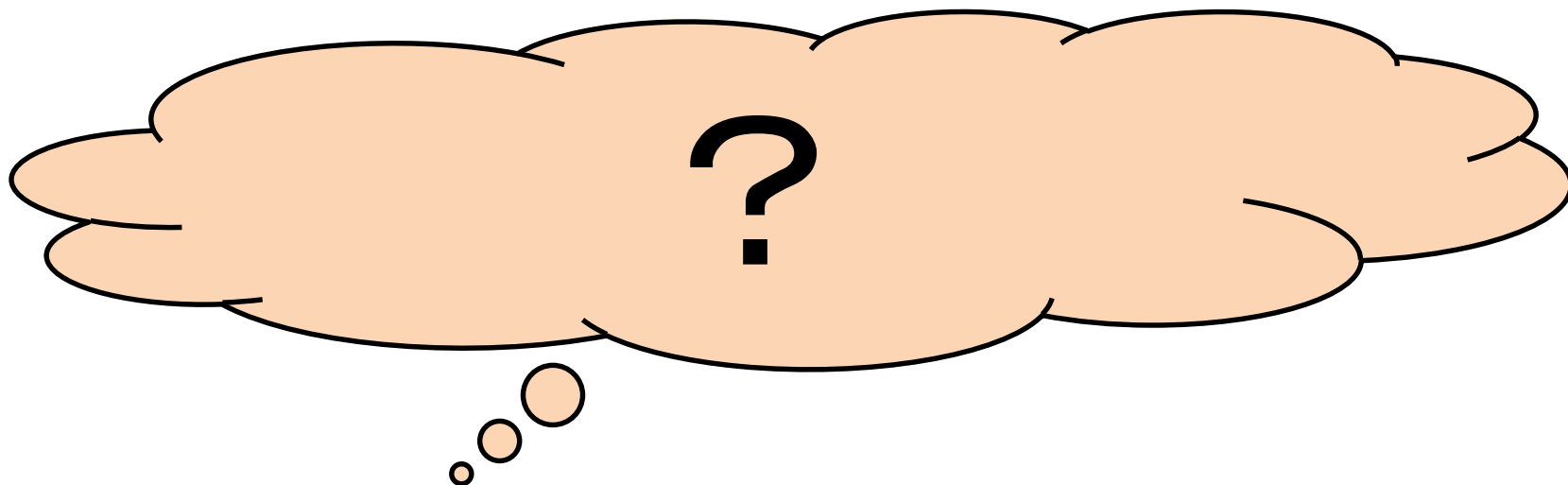
をはさまず、最後まで

心

しながら、

ながら

を動かさないで聴く



PADカード

説明内容

- I 事業の概要
- II 各拠点校の特徴的な取組
- III 研究成果の共有・発信

- 各小・中学校ごとに工夫した探究型の授業づくり
- 全国学力・学習状況調査の良好な結果
- 授業改善の取組の質的向上
- 優れた授業実践や校内研修の学校・校種を越えた共有
- ベテラン教員の大量退職を見据えた若手教員の指導力向上

- ・学習活動の表面的な様相にとらわれることなく、児童生徒の学びの深まりにつながる質の高い学習活動を展開する。
- ・優れた授業実践や校内研修について学校を越えて交流するとともに、将来の本県教育を担う若手教員への継承を図る。
- ・小学校、中学校及び高等学校が、視点を共有して授業改善にして取り組む。

- 1 実践協議会の開催
- 2 拠点校における授業改善及び校内研修の取組
- 3 先進的事例に関する研修
- 4 研究成果の共有・発信



授業改善の質的な向上

拠点校の優れた取組の波及



本県児童生徒の学力向上

●拠点校

大館市立城南小学校(児童数355名、学級数10)
大仙市立大曲小学校(児童数735名、学級数31)
大仙市立大曲中学校(生徒数770名、学級数28)

●協力校

県立大曲高等学校(生徒数574名、学級数15)

- ①次の学習活動における指導の手立ての工夫改善
 - ア 問題を見いだし**解決の見通しをもつ**活動
 - イ 他者と協働して考えを形成し、自己の**考えを広げ深める**活動
 - ウ 知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして**深い理解につなげる**活動
 - エ 自身の学びを**振り返り変容を自覚する**活動
- ②授業研究協議会の内容及び方法等の工夫
- ③市内の小・中学校と協力して取り組む体制の構築
- ④小・中学校と高等学校が授業改善に連携して取り組むための効果的な方策等の模索

- 大館市立城南小学校
考えを広げ、深める「シンカタイム」の取組
- 大仙市立大曲小学校
「聴くこと」「話すこと」の充実に向けた取組
- 大仙市立大曲中学校
「PADカード」による授業分析の取組

Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

●大館市立城南小学校 考えを広げ、深める「シンカタイム」の取組



Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

「シンカタイム」とは・・・

児童のより主体的な学び合いを目指して、できるだけ教師に頼らず、児童主体で課題解決に向かう学び合いの実践



Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

「シンカタイム」のポイント

- ・単元のどの時間に設定することが効果的かを考えて計画
- ・ねらいに迫るための「シンカの視点」の準備
- ・発達の段階に応じた教師の介入
- ・「シンカタイム」のカードを黒板に掲示
- ・全員が挙手できる場面の設定
- ・途中までの発言を認める集団づくり
- ・発言をつなぐ話型
- ・反応言葉「あいうえお」の活用

Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

シンカの視点（算数の例）

- ・条件から分かることは？
- ・きまりがありそう？
- ・なぜそうなるの？
- ・ある観点から見ると同じといえる？
- ・今まで習った内容や考え方と結びつけて考えると？
- ・共通点はある？ない？
- ・簡単な数に置き換えて考えると？

Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

シンカタイムについての児童の振り返りのコメント

【低学年】

- ・自分の意見をはっきり発表できるようになりました。

【中学年】

- ・先生から「間違いは悪くない。『花丸まちがい』だ。」と教わりました。だから、とにかくたくさん発表して、どんどん授業を進めていけるようになりました。

【高学年】

- ・分かる人だけが参加するのではなく、「途中までなら・・・」「こうなるんじゃないか」と、発想を全員で深められました。

Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

●大仙市立大曲小学校

「聴くこと」「話すこと」の充実に向けた取組

目 耳 心

セットで **聴** こう

目 話す人の方をむいて

耳 と中で口をはさまず、最後まで

心 反応しながら、うなずきながら
手を動かさないで聴く

Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

「聴くこと」の充実に向けて

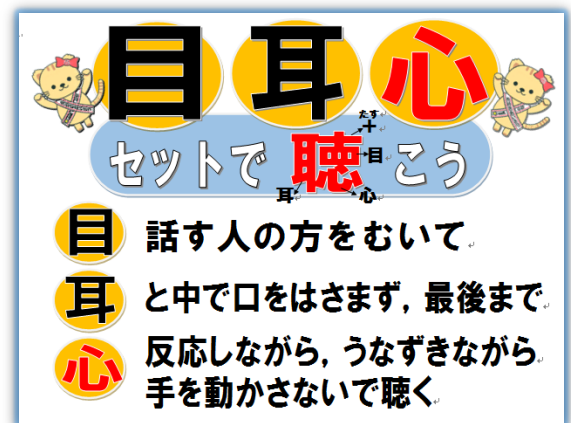
発表する児童に対して、

「あなたの発表を聴いています。」

ということが伝わるように聴く姿勢を徹底する。



「聴くこと」の約束



目 耳 心

セットで聴こう

- 目 話す人の方をむいて。
- 耳 と中で口をはさまず、最後まで。
- 心 反応しながら、うなずきながら手を動かさないで聴く。

Ⅱ 「他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動」に関わる拠点校の取組

「話すこと」の充実に向けて

「話すこと」の約束

発表した人の内容にコメントしてから、自分の意見を話す。



「思考のつながり」を意識させる。

みんなで学習するときの話し方

はじめの発表

- ☆ 私は ～ だと思います。
理由は ～ からです。



友だちの考えにつなげて話そう

友だちの考えをうけとめて

- ☆ ○○さんは ～ と言っています。
(それは …… だと思います。)

自分の考えを発表

- ☆ 私にも について ～ だと思います。
- ☆ 私は ちがっていて ～ だと思います。
- ☆ ○○さんの考えに つけたして
～ だと思います。
- ☆ ○○さんに 質問があります。
～がよくわからなかったので 教えてください。

友だちの考えを取り入れて自分の考えを見直す

- ☆ 私は ～ と考えていましたが、○○さんの話を聞いて、…… と考えるようになりました。

Ⅱ 「自身の学びを振り返り変容を自覚する活動」に関わる拠点校の取組

自己の変容の自覚のための「振り返り」

発達段階に応じた振り返りの視点

2年生	4年生	6年生
ふり 返 り	ふ り 返 り	ふ り 返 り
★1 わかったこと	★1 わかったこと	★1 わかったこと
★2 自分や友だちの考えの よかったところ	★2 自分や友だちの考えの よかったところ	★2 自分や友だちの考えの よかったところ
★3 学びあいでの 自分のがんばり	★3 学び合いを通して 自分の考えがかわったこと	★3 自分の考えが 変わったり深まったりしたこと
★4 わからなかったこと	★4 もっと学習したいこと	★4 もっと学習したいこと
★5 もっと学しゅうしたいこと	★5 生活や学習で使いたいこと	★5 生活や学習で役立てたいこと

Ⅱ 取組から見えてきた成果

- ・互いの考えや立場を認め合いながら学びを深めることができるよう、**発達の段階に応じて教師の介入**を工夫すること(城南小)
- ・他の意見を聴いて考え、自分の意見を組み立てて発表することができるよう、**子ども同士を関わるさせること**(大曲小)



学び合う活動における「教師の働き掛け」「子ども同士の関わりさせ方」の工夫は、児童が自分の考えを再構築する上で効果的

Ⅱ 「知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につなげる活動」に関わる拠点校の取組

●大仙市立大曲中学校 「PADカード」による授業分析の取組

PADカード

PADカード

Passive

- ・対話のフォーマットから目が離せない
- ・相手にわかりやすく伝えようとする意欲や構えが見られない

Active

- ・活動の見通しがもてている
- ・授業後も関心や意欲が続いている

Deep

- ・自分の経験を表現に生かそうとしている
- ・相手とのやりとりから得た新たな

Ⅱ 「知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につなげる活動」に関わる拠点校の取組

「PADカード」とは・・・

Passive（受動）、Active（能動）、Deep（深い学び）の状態を各教科ごとに生徒の姿で表したカード

Passive（受動）の状態

→生徒が受け身な活動をしている。

Active（能動）の状態

→生徒が主体的で対話的な活動をしている。

Deep（深い学び）の状態

→生徒がActive（能動）の状態であり、かつ、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせている。

Ⅱ 「知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につなげる活動」に関わる拠点校の取組

PADカード

理科の例

Passive

- ・板書をノートに写し、教師の話を聞いている。
- ・観察・実験が人任せの活動になっている。

Active

- ・課題を自分のものにし、その解決を意識して活動に取り組んでいる。
- ・仮説や考察など、自分の考えをもつことができる。

Deep

- ・自分と友達の考えを比較・検討し、自分の考えを再構築している。
- ・関心や意欲が高まり、新たな問いが生まれている。

Ⅱ 「知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につなげる活動」に関わる拠点校の取組

PADカードの活用の仕方

- ・1時間の授業の中で、3～6名の生徒を抽出
- ・PADカードを基に、分担して生徒を観察
- ・授業後に、それぞれの生徒に対して聞き取りを実施



◎教師の手立ては、生徒にとって有効だったか？



Ⅱ 「知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につなげる活動」に関わる拠点校の取組

聞き取った生徒のコメント(社会科)

教師「授業前後で変わったことは？」

生徒「授業後、自分が資料から読み取ったことと、先生が言っていることが結びつくようになったと思う。」

教師「それはどんな点において？」

生徒「自分が思っていた中国四国地方とは違う一面があると思えたから。」

Ⅱ 取組から見えてきた成果

◎生徒の姿からの授業改善

- ・生徒の変容につながった手立て
- ・生徒の変容につながらなかった手立て
- ・生徒同士の関わらせ方
- ・資料提示の工夫
- ・聞き取った生徒の声

など



授業研究会において、見取った生徒の姿を基に
教科の壁を越えて協議することは、研究実践へ
の共通理解が進み、授業改善に効果的

学力向上フォーラムでの情報発信

大館市立城南小学校（拠点校）

- ・平成30年度11月に開催された県教育委員会主催の「学力向上フォーラム」において、大館市内の各小・中学校等と共に、授業を公開
- ・参加者による授業研究会



※学力向上フォーラムの参加者数

総計1,433人（うち、県外参加者数489人）

平成30年度の実践から見えてきた課題

- 児童生徒が教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる授業の充実
- 各学校の実践が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向かうものとなっているかの検証

今年度の実践のキーワード
「見取り」「教師の働き掛け」「検証」

学力向上フォーラムでの情報発信

期日：令和元年11月23日（土）

会場：大仙市立大曲小学校（拠点校）
大仙市立大曲中学校（拠点校）
県立大曲高等学校（協力校）



是非、いらしてください。
お待ちしております。